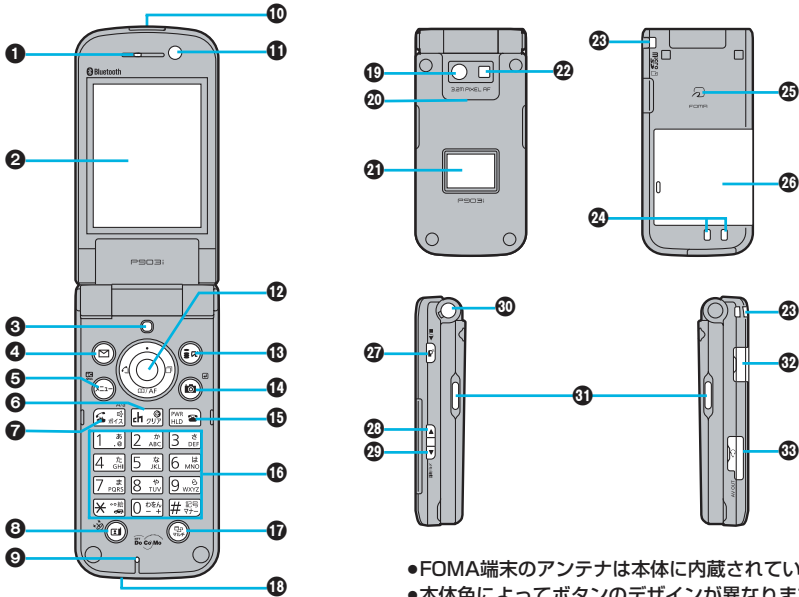


ご使用前の確認

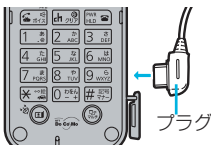
各部の名称と機能	24
ディスプレイの見かた	26
アイコンの説明を表示する	<表示アイコン説明> 28
プライベートウィンドウについて	28
ナビゲーション表示について	30
かんたんモードを利用する	31
メニューの選択方法について	32
ボタン操作を忘れてしまったとき	<使いかたナビ> 36
FOMAカードを使う	38
電池パックの取り付けかた／取り外しかた	41
FOMA端末を充電する	42
ボタン操作でFOMA端末を開く	<ワンブッシュオープン> 44
電池残量の確認のしかた	<電池残量> 44
電源を入れる／切る	<電源ON/OFF> 45
初期設定を行う	<初期値設定> 46
日付・時刻を合わせる	<時計設定> 47
相手に自分の電話番号を通知する	<発信者番号通知> 48
自分の電話番号を確認する	<自局番号表示> 49

各部の名称と機能



- FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。
- 本体色によってボタンのデザインが異なります。
上記は本体色「ブラウン×シルバー」・「ホワイト×パールストライプ」のイラストです。

■平型スイッチ付イヤホンマイクの取り付けかた



平型スイッチ付イヤホンマイクを抜き差しするときは、プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、カバーとプラグを一緒に持たないようにご注意ください。

① 受話口

・相手の声をここから聞く

② ディスプレイ(表示部)

(P.26参照)

③ 照度センサー

・明るさを感じする(P.142参照)

④ メールボタン

・メールメニューを表示(P.246参照)
・画面左下に表示されている操作を行う
(P.30参照)

<1秒以上押すと>

・iモード問い合わせを行う(P.241参照)

⑤ メニューボタン

・メインメニューを表示(P.32参照)

<1秒以上押すと>

・ICカードロックをかける(P.296参照)

⑥ クリア / iチャンネル対応ボタン

・操作を1つ前の状態に戻す
・入力した文字や電話番号を消す
・チャンネル一覧画面を表示(P.224参照)

⑦ 開始ボタン / ハンズフリーボタン

・電話をかける / 受ける(P.53、P.70参照)
・ハンズフリーで通話する(P.68参照)
<1秒以上押すと>
・ボイスダイヤルを呼び出す(P.124参照)

⑧ テレビ電話ボタン

・テレビ電話をかける / 受ける(P.53、P.70参照)
・GPSメニューを表示(P.298参照)
<1秒以上押すと>
・現在地を測り、GPS機能を実行する(P.302参照)

⑨ 送話口

・自分の声をここから相手に送る

10 赤外線ポート

- ・赤外線通信や赤外線リモコンに使用 (P.344、P.348参照)

11 インカメラ

- ・自分を撮影 (P.179参照)
- ・テレビ電話時に自分の顔を映す

12 コマンドナビゲーションボタン

- ・機能操作やメニュー操作を行う (P.30参照)

13 i モードボタン / i アプリボタン

- ・i モードメニューを表示 (P.200参照)
 - ・画面右下に表示されている操作を行う (P.30参照)
- <1秒以上押すと>
- ・i アプリのソフト一覧画面を表示 (P.273参照)

14 カメラボタン

- ・「フォトモード」でカメラを起動 (P.184参照)
 - ・カメラ起動中にカメラモードを切り替える (P.189参照)
- <1秒以上押すと>
- ・「ムービーモード」でカメラを起動 (P.187参照)

15 電源 / 終了ボタン

- ・通話を終了する
- ・各機能を終了する
- ・電源を入れる (1秒以上) / 切る (2秒以上) (P.45参照)

16 ダイヤルボタン

- ・電話番号や文字を入力
- **(#)** (1秒以上)
マナーモードに設定 (P.134参照)
- **(X)** (1秒以上)
公共モード (ドライブモード) に設定 (P.77参照)
- **(5)** (1秒以上)
バックライトの点灯 / 消灯を切り替える (P.143参照)

17 マルチボタン

- ・マルチタスクメニューを表示 (P.373参照)
- <1秒以上押すと>
- ・複数の機能が起動中に機能を切り替える (P.373参照)

18 外部接続端子

- ・ACアダプタ (別売)、DCアダプタ (別売)、FOMA USB接続ケーブル (別売)などを接続

19 アウトカメラ

- ・人や風景を撮影 (P.179参照)
- ・テレビ電話時に人や風景を映す

20 着信 / 充電ランプ

- ・電話の着信時 / 通話中 / メールを受信時などに点滅 (P.145参照)
- ・充電中に赤色に点灯
- ・カメラ撮影時に点灯 (点滅)
- FOMA端末は左右に2つのランプを搭載しているため、着信 / 充電ランプは各ランプの混合色で光ります。(本書においては、FOMA端末を閉じたときの右側のランプ色で説明しています。)

21 プライベートウィンドウ

- (P.28参照)

22 フォトライト

- ・暗い所などでの撮影に使用 (P.189参照)

23 ストラップ取り付け穴

24 充電端子

25 FeliCa マーク

- ・ICカードを搭載
- このマークを読み取り装置 (リーダー / ライター) にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。(P.289参照)

26 リアカバー

- (P.41参照)

27 プッシュトークボタン

- ・プッシュトーク発信 / 着信 (P.95、P.98参照)
- ・プッシュトーク電話帳を表示 (P.99参照)

<1秒以上押すと>

- ・「着うたフル[®]プレーヤー」または「SDオーディオ」を起動 (P.358、P.365参照)

28 サイド上ボタン

- ・ページ単位で上にスクロールする

29 サイド下ボタン

- ・ページ単位で下にスクロールする
- ・伝言メモなどを利用 (P.81参照)
- ・不在着信・新着メールを確認 (P.147参照)

<閉じた状態で1秒以上押すと>

- ・マナーモードに設定 (P.134参照)

30 ワンプッシュオープンボタン

- (P.44参照)

31 スピーカ

- ・着信音が鳴る
- ・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く (P.68参照)

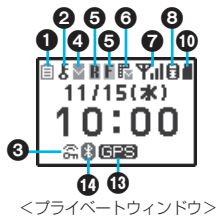
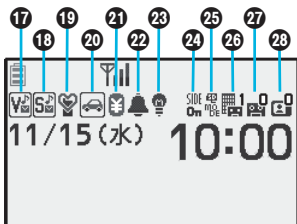
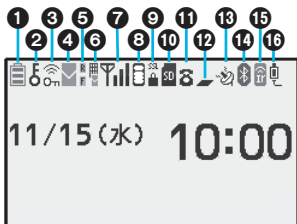
32 microSDメモリーカード差し込み口

- ・microSDメモリーカードをここに差し込む (P.335参照)

33 イヤホンマイク / AV出力端子



















- (P.354、P.391参照)














ディスプレイの見かた



1	電池残量(目安)(P.44参照)
2	オールロック中(P.158参照)
3	PIMロック中(P.160参照)
4	ダイヤル発信制限中(P.169参照)
5	シークレットモード、シークレット専用モード中(P.170参照)
6	ICカードロック中(P.296参照)
7	ダイヤル発信制限中・シークレットモード、シークレット専用モード中
8	ICカードロック中・オールロック中
9	ICカードロック中・PIMロック中
10	ICカードロック中・ダイヤル発信制限中
11	ICカードロック中・シークレットモード、シークレット専用モード中
12	ICカードロック中・ダイヤル発信制限中・PIMロック中
13	ICカードロック中・ダイヤル発信制限中・シークレットモード、シークレット専用モード中
14	あんしんキーロックを設定しているとき(P.162参照)
15	あんしんキーロック中(P.162参照)
16	あんしんキーロック一時解除中(P.162参照)
17	あんしんキーロック異常(P.162参照)
18	閉じタイマーロック設定中(P.165参照)
19	(ピンク) 未読 i モードメール・SMSあり(P.239、P.266参照)
20	(グレー) FOMA端末内の i モードメール・SMSが一杯(P.239、P.267参照)
21	FOMAカード内のSMSが一杯
22	(ピンク) 未読メールがあり、FOMAカード内のSMSが一杯
23	(グレー) FOMA端末内・FOMAカード内の両方が一杯

24	(黄色) 未読メッセージR/Fあり(P.214参照)
25	(グレー) FOMA端末内のメッセージR/Fが一杯(P.214参照)
26	6
27	(ピンク) i モードセンターに i モードメールあり(P.241参照)
28	(グレー) i モードセンターの i モードメールが一杯(P.239参照)
	(黄色) i モードセンターにメッセージR/Fあり(P.215参照)
	(グレー) i モードセンターのメッセージR/Fが一杯(P.215参照)
	メール選択受信設定を「ON」に設定中に i モードセンターに i モードメールあり(P.241参照)
	7
	電波の受信レベル(目安) 強 ← → 弱
	圏外 FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
	self セルフモード中(P.159参照)
	8
	i モード中(P.200、P.201参照)
	i モード通信中(P.200参照)
	パケット通信中(通信状態によって表示は異なります。)
	プッシュトーク通信中(P.95参照)
	ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき(P.433参照)
	9
	SSL通信中(P.201参照)

10	
	microSDメモリーカードを装着中 (P.335参照)
	microSDメモリーカードのデータを読み込み/書き込み中
	ライトプロテクトがかかったmicroSDメモリーカードを装着中 (P.335参照)
	装着しているmicroSDメモリーカードが使用不可 (P.335参照)
	microSDメモリーカードを装着し、microSDモードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中 (P.341参照) (プライベートウィンドウには表示されません)
11	
	音声電話中
	テレビ電話中(64K)
	テレビ電話中(32K)
	64Kデータ通信中
12	
	マルチタスク中 (P.373参照)
	複数の機能が動作中 (P.373参照)
13	
	現在地測位中 (P.298参照)
	位置提供設定を「許可」または「許可期間設定」に設定中 (P.304参照)
14	
	(青色) Bluetooth機器との接続中など (P.395、P.397参照)
	(グレー) Bluetooth機器との接続が低消費電力状態 (P.395参照)
15	
	赤外線通信中 (P.344、P.348参照)
16	
	通信モードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中
	microSDモードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中 (P.341参照)

	USBハンズフリー対応機器で通話・通信中 (P.69参照)
	USBハンズフリー対応機器接続中 (P.69参照)
	microSDモードでUSBハンズフリー対応機器接続中 (P.69参照)
17	
	バイブレータ設定中 (P.130参照)
18	
	着信音量を「消去」に設定中またはメール/メッセージ鳴動を「OFF」に設定中 (P.75、P.133参照)
19	
	マナーモード中 (P.134参照)
	遠隔監視設定を「ON」に設定中 (P.90参照)
20	
	公共モード(ドライブモード)中 (P.77参照)
21	
	通話料金が設定した上限値を超過 (P.389参照)
22	
	アラーム設定中 (P.377参照)
23	
	バックライトを「OFF」に設定中 (P.143参照)
24	
	サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中 (P.169参照)
25	
	USBモード設定を「microSDモード」に設定中 (P.341参照)
26	
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり (P.402参照)
27	
	伝言メモの録音件数 (P.80参照)
28	
	テレビ電話伝言メモの録画件数 (P.80参照)

- 日付・時刻を設定している場合、待受画面以外では、画面の右上に時計が表示されます。ただし、15、16のアイコンが表示されているときは、時計は表示されません。

■ディスプレイの表示について

- ディスプレイやプライベートウィンドウに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- 主にお買い上げ時の設定をもとにしていますので、お買い上げ後の設定の変更によりFOMA端末の表示が取扱説明書とは異なった表示になることがあります。
- カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 本書ではカラー画面を白黒で記載しているため、実際の画面とは色調が異なります。

アイコンの説明を表示する

画面の上部に表示されるマーク(📶🔋🔊など)をアイコンといいます。アイコンの意味は画面上で確認できます。

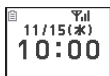
1 **ディスプレイ** **表示アイコン説明** **でアイコンを選ぶ**



選んだアイコンの説明が表示されます。

プライベートウィンドウについて

プライベートウィンドウには、時計やアイコンなどさまざまな情報が以下の例のように表示されます。



時計



スケジュールアラーム



着信中



発信中



音声通話中

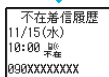


遠隔監視中

■不在着信があったときは




FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに「**不在**」が表示されます。
を押すと不在着信履歴が表示されます。電話帳に登録している相手からの不在着信の場合、名前が表示されます。




- 複数の不在着信があった場合、を押すたびに3件までの不在着信履歴が表示されます。
- 不在着信があったあとに、通常の着信を30件以上受けた場合は、不在着信履歴は表示されません。
 - ツールグループ(P.372参照)の機能が動作中は、不在着信履歴は表示されません。
 - 不在着信履歴を表示すると「**不在**」は消えます。

■新着メールがあったときは



FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに「✉メール」が表示されます。P.140「メール表示」を「ON」に設定している場合は、を押すと受信したメールの受信日時、送信元、題名が表示されます。電話帳に登録している相手からメールを受信した場合、送信元の名前が表示されます。







SMSを受信した場合、題名には「SMS」と表示されます。

複数のメールを同時に受信した場合、を押すたびに3件までのメールが表示されます。



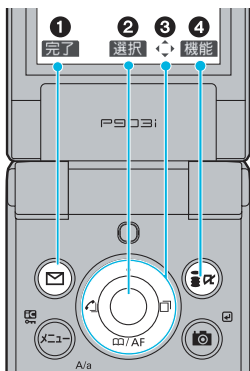
- セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
- 受信したメールの受信日時、送信元、題名を表示すると「✉メール」は消えます。
- 「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて、待受画面以外を表示中にメールを受信したときは、情報は表示されずに「✉メール」が表示されます。
- 音声電話中やテレビ電話中にメールを受信したときは、「受信表示設定」を「通知優先」に設定していても情報は表示されません。

お知らせ

- FOMA端末を閉じた状態で  または  を押すと、バックライトが点灯します。暗い場所でも時刻を確認できます。
- 省電力モードになると、プライベートウィンドウの表示が消えます。  または  を押すと、再びプライベートウィンドウが表示されます。

ナビゲーション表示について

表示される内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。



■主な表示例とボタン割り当て

①	✉ ボタンで行う操作を表示	完了 ✉
②	● ボタンで行う操作を表示	選択 確定
③	スクロールや項目の選択が可能な方向を表示	⬆
④	☰ ボタンで行う操作を表示	機能 ☰

■コマンドナビゲーションボタンの操作

上

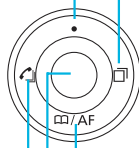
- ・カーソルまたは反転表示を上方向へ移動させます。(押し続けると連続スクロールになります)
- ・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
- ・待受画面で押すと電話帳機能の選択画面(電話帳メニュー)を表示します。
- ・入力した文字をカタカナ、漢字などに変換します。(P.421参照)

左 / 着信履歴

- ・カーソルを左方向へ移動させます。
- ・待受画面で押すと着信履歴を表示します。1秒以上押すと受信アドレス一覧を表示します。(P.58、P.254参照)
- ・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。(押し続けると連続スクロールになります)
- ・サイト表示中に前のページに戻ります。

右 / リダイヤル

- ・カーソルを右方向へ移動させます。
- ・待受画面で押すとリダイヤルを表示します。1秒以上押すと送信アドレス一覧を表示します。(P.58、P.254参照)
- ・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。(押し続けると連続スクロールになります)
- ・サイト表示中に次のページを表示します。



決定ボタン


- ・操作を決定します。

下

- ・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動させます。(押し続けると連続スクロールになります)
- ・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。
- ・待受画面で押すと電話帳検索画面を表示します。1秒以上押すと電話帳登録できます。(P.109、P.116参照)
- ・入力した文字を漢字、カタカナなどに変換します。(P.421参照)

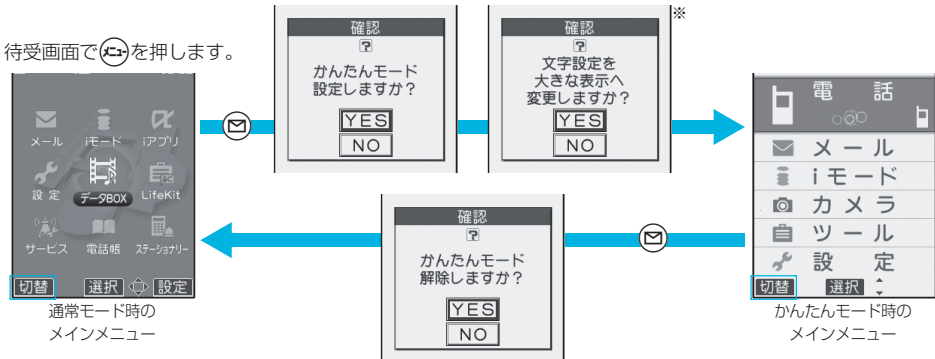
かんたんモードを利用する

かんたんモードとは、通常モードよりも操作を少なくして、使いやすくしたモードです。

- 画面に表示される機能は基本機能に絞っています。
- 詳細な機能を使う場合は、 (切替) で通常モードに切り替えてください。
- 本書では、通常モードでの操作のみを記載しています。かんたんモードでの操作については、各機能の該当ページを参照してください。


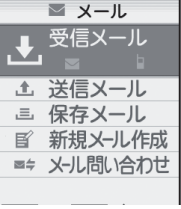




かんたんモードに切り替える

通常モードとかんたんモードをメインメニューから切り替えます。



※「YES」を選択すると、「iモード設定」「メール設定」の「文字サイズ設定」を「拡大表示」に設定します。かんたんモードを解除してもそれぞれの設定は元に戻りません。また、すでに「拡大表示」に設定されているときは、確認画面は表示されません。

かんたんモードの構成

電話	メール	iモード
 <ul style="list-style-type: none"> 電話 発信履歴 着信履歴 電話帳検索 電話帳登録 伝言メモ 自分の電話番号 	 <ul style="list-style-type: none"> メール 受信メール 送信メール 保存メール 新規メール作成 メール問い合わせ 	 <ul style="list-style-type: none"> iモード iメニュー ブックマーク 画面メモ URL入力 メッセージR/F
カメラ	ツール	設定
 <ul style="list-style-type: none"> カメラ 写真を撮る 写真を見る 動画をとる 動画を見る 	 <ul style="list-style-type: none"> ツール データBOX スケジュール アラーム 電卓 フリーメモ 使いかたナビ 	 <ul style="list-style-type: none"> 設定 着信音/音量 画面/文字 通話料金 日付時刻 セキュリティ サービス

メニューの選択方法について

FOMA端末では、**(メニュー)**を押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。

■スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした9つの大項目アイコンで構成され、4つのグループ(メール・iモード・設定・ツール)に分かれています。(P.372参照)

大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。選択を繰り返して設定、確認を行います。

■メニュー番号選択

機能によっては、**(メニュー)**+メニュー番号(P.438参照)を押すと表示されます。

- FOMA端末は、メールグループ、iモードグループ、設定グループ、ツールグループの各グループから1つずつ(最大3つ)と、グループに属さない音声電話などの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。(P.372参照)

スクロール選択

この取扱説明書では、コマンドナビゲーションボタンの操作(上下左右の選択と機能項目を選択、入力したあとの**(決定)**)を省略して記載しています。ここでは、以下の記載例に基づき、「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

手順の記載例

大項目のアイコン 中項目 小項目の機能名称

1 **(メニュー)** → **設定** → **通話** → **通話品質アラーム** → **アラームを選択**
アラームなし... お知らせしません。
アラーム高音... 高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音... 低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

画面に表示される項目

ステップ

1 メニュー機能の大項目アイコンを選択します

メインメニューから **(メニュー)** を選択します。



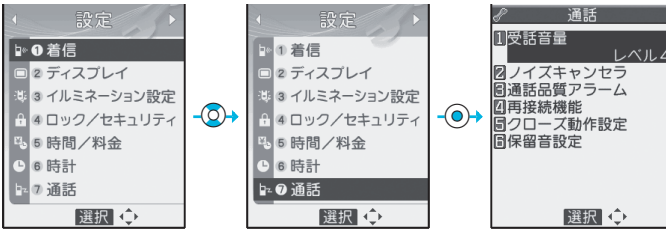
- **(メニュー)**を押してアイコンを選択します。
「メニューアイコン設定」を「パターン2」に設定した場合は、メインメニューで **(メニュー)**を押して大項目アイコン、**(決定)**を押して各アイコン内の中項目や機能を選べます。
- **(メニュー)**を押し続けると連続スクロールします。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。ただし、「メニューアイコン設定」を「パターン2」に設定している場合は戻りません。

ステップ

2

メニュー機能の中項目を選択します

「設定」から「通話」を選択します。



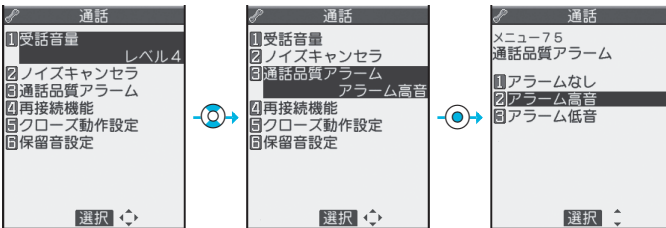
- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- を押すと下の項目、 を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- または を押すとページ単位でスクロールします。

ステップ

3

目的の小項目(機能)を選択します

「通話」から「通話品質アラーム」を選択します。



- を押すと下の項目、 を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。

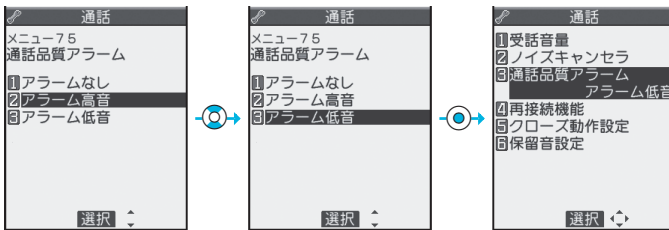
ステップ

4 機能の設定や確認をします

選択した各機能の設定や確認を行います。

機能項目によっては、さらに詳細項目を選択する場合があります。

操作の例では「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。



- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- を押すと下の項目、 を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。

メニュー番号選択

ここでは以下の記載例に基づいてメニュー番号選択を説明します。

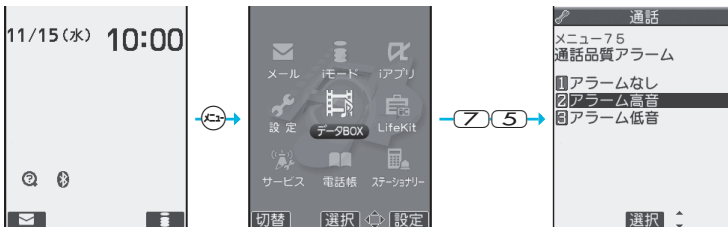
メニュー番号の記載例



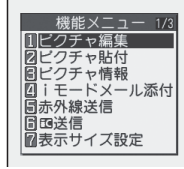
ステップ

1 メニュー番号で機能を呼び出します

待受画面で **7** **5** を押します。



■機能メニュー画面について



- 画面の右下に「機能」が表示されているときに を押し、機能メニューが表示されます。機能メニューを表示させたときの画面によって、機能メニューの内容は異なります。
- それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目が表示されます。
- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニュー画面の右上に「現在のページ数/全体のページ数」が表示されます。

機能メニューの記載例

この取扱説明書では、機能メニューの操作をページによって以下の2つの方法で記載しています。

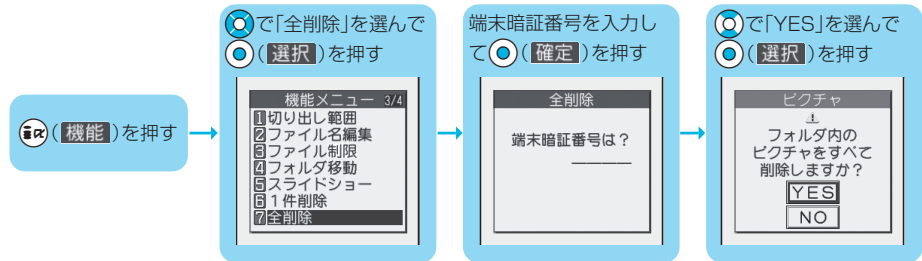
機能メニュー	操作	補足
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES	●すべてのデータを削除します。

機能メニューに表示される項目

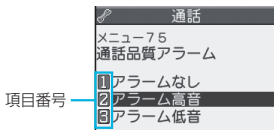
機能メニュー	操作・補足
全削除	すべてのデータを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

機能メニューの項目を選択したあとの操作手順

実際の操作は以下のように行います。



■すばやく項目を選択するために<ダイレクト選択>

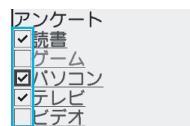


表示されている項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押しても選択できます。

■項目のスクロール

メニュー項目などが複数のページにわたるときは、画面の一番上、下の項目から を押しと前、次のページを表示します。 または を押しとページ単位でスクロールします。

■チェックボックスについて



複数の項目を選択できる機能では、チェックボックスにチェックを付けて項目を選択します。 を押しと「」と「」が切り替わります。機能によっては を押しと「全選択/全選択解除」を選択し、一括でチェックを付けたり外したりできる場合があります。

- 機能によっては選択した項目に「」が表示されます。

■メニュー操作が終わったとき／途中でやめるときは

●メニュー操作が終わったとき

各機能の設定が終わると小項目の選択画面になります(ただし機能によっては待受画面に戻るものもあります)。各機能の設定が終わったら(☑)を押します。メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。(マルチタスク中を除く)

●メニュー操作を途中でやめるとき

設定を途中でやめるときは(☒)を押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、設定の項目によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示されることがあります。また、(⏪)を押して操作を1つ前の状態に戻せます。

■「YES/NO」を選択する画面のときは

●「YES/NO」の選択画面のときは

1. (○)を押して「YES」または「NO」を選ぶ
2. (○) (選択)を押す



設定リセットの場合

<使いかたナビ>

ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては「使いかたナビ」から実行できるものもあります。

1 (メニュー) (ステーション) ▶ 使いかたナビ ▶ 項目を選択



使いかたナビ画面

- 基本の操作 基本的な機能を表示します。手順4へ進みます。
おすすめ機能 おすすめの機能を表示します。手順4へ進みます。
機能検索 機能を検索します。
ボイス検索 キーワードを話して検索します。P.37手順2へ進みます。
検索履歴 過去の検索履歴を30件まで表示します。手順4へ進みます。
●各項目を選んで(☑) (ALL)を押すと詳しい操作方法が表示されます。
●お買い上げ時に貼り付けられているアイコンを削除したあと、再度デスクトップに貼り付けたいときは、左の画面で(☑) (機能)を押して「デスクトップ貼付」を選択します。(P.149参照)

2 手順1で「機能検索」を選択した場合は、検索方法を選択

文字入力キーワード検索 . . . キーワードを入力して検索します。手順3へ進みます。

索引検索 機能を50音順で検索します。(☑) (☑)を押すと前後の行を表示します。手順4へ進みます。

機能一覧検索 機能の一覧から検索します。手順4へ進みます。

●各項目を選んで(☑) (ALL)を押すと詳しい操作方法が表示されます。

「文字入力キーワード検索」を選んで(☑) (ALL)を押した場合は、「文字入力キーワード検索」または「文字入力のしかた」を選択します。

3 キーワードを入力

検索結果が50件まで表示されます。

●全角24文字まで、半角48文字まで入力できます。

4 機能を選択 ▶ 項目を選択

機能の説明 機能の説明を表示します。

操作のしかた 操作方法を表示します。

この機能を使う 機能を実行します。各機能の操作を行います。

関連機能 関連する機能を10件まで表示します。手順4を繰り返します。

- 機能によっては(⊙)(**選択**)を数回押して選択します。
- 手順1で「基本の操作」を選択した場合、機能を選択すると説明が表示されます。(☒)(**実行**)を押すと機能を実行できます。
- 機能を選んで(☒)(**説明**)を押しても機能の説明が表示されます。
- 検索履歴を削除するには(☒)(**機能**)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

ボイス検索

キーワードを話して検索します。「音声読み上げ設定」の「ボイス検索」を「ON」に設定しておく、操作を音声ガイダンスで案内します。

1 使いかたナビ画面 ▶ ボイス検索

- (☒)(**1/17**)を押し、「ボイス検索」または「音声入力のかた」を選択すると詳しい操作方法が表示されます。

2 音声認識開始音が鳴ったらキーワードを話す

音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。

認識結果が9件まで表示されます。

- 音声認識開始音の音量は変更できません。また、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
- 音声で入力できるキーワードはあらかじめFOMA端末に登録されているキーワードのみです。発声した言葉が認識されにくい場合は、別の言葉を発声してみてください。
- 音声入力についてはP.125参照。

3 認識結果を選択 ▶ 項目を選択

このキーワードで検索 選択したキーワードで検索します。検索結果が50件まで表示されます。P.37手順4へ進みます。

キーワードの追加 キーワードを追加します。手順2～手順3を繰り返します。

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。

FOMAカードの詳しい取扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

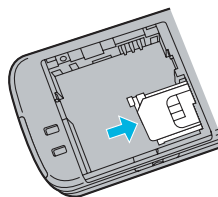
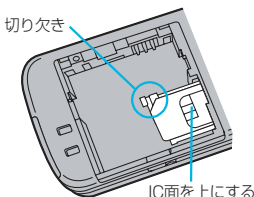
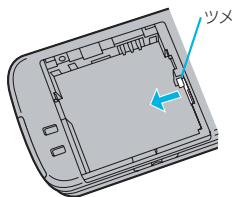
FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは、電池パックを外してからセットします。(P.41 参照)

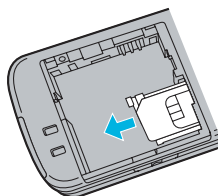
■取り付けかた

- 1 ツメの部分を引いてトレイを引き出す**
 - トレイを「カチッ」と音がするまでまっすぐ引き出します。
- 2 IC面を上にしてFOMAカードをトレイに載せる**
 - FOMAカードとトレイの切り欠き部分を合わせてください。
- 3 トレイを奥に押し込む**
 - 固定されるまで確実に押し込んでください。



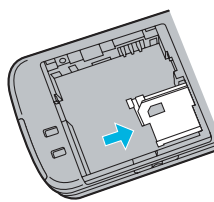
■取り外しかた

- 1 取り付けかたの手順1に従ってトレイを引き出し、FOMAカードを取り外す**



■トレイが外れたときは

トレイをガイドレールに合わせてまっすぐ押し込んでください。



お知らせ

- FOMAカードの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- FOMAカードを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。また、トレイを無理に付けようとするとトレイやガイドレールが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを差し替えたとき(おまかせロック中は除く)は、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。(P.155参照)

FOMAカード動作制限機能について

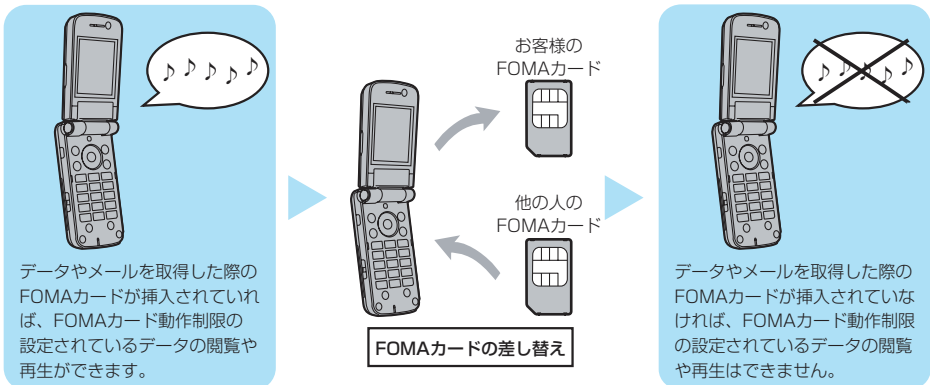
FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。


FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。

- ・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
- ・ファイルが添付されているiモードメールを受信したとき

FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧/再生/起動/編集/メールへの添付/赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作ができなくなります。

- このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。



- FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「」が表示されます。

- ・テレビ電話伝言メモ/動画メモ
- ・サイトやインターネットホームページからダウンロードまたは取得したメロディ/画像/i モーション/i アプリ/キャラ電/PDFデータ
- ・ダウンロード辞書
- ・メロディ/画像/i モーション/キャラ電/ダウンロード辞書/トルカが含まれている画面メモ
- ・受信BOX内のiモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル(メロディ/画像/キャラ電ピクチャ/キャラ電ムービー)
- ・送信BOX/保存BOX内のiモードメールに添付されているファイル(メロディ/画像/i モーション/キャラ電ピクチャ/キャラ電ムービー)ただし、FOMA端末で撮影/編集したデータは除きます。
- ・ファイル(メロディ/画像)が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F
- ・デコメール本文中に挿入されている画像

※あらかじめ登録されているi アプリ/キャラ電は、サイトから再びインストール(バージョンアップ)すると本機能の対象になります。

- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。



お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。
- FOMAカード動作制限機能が設定されている i アプリは、ダウンロード時に挿入されていたFOMAカードが挿入されていないと、メール詳細画面で反転表示されている文字などを選択しても起動できません。
- 下記の機能は設定内容がFOMAカードに登録されます。
 - ・SMS有効期間設定 ・SMS center設定 ・バイリンガル
 - ・ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定 ・PIN1コード、PIN2コード ・PIN1コード入力設定
 - ・優先ネットワーク設定

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード(青色)」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード(緑色)」との機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード (青色)	FOMAカード (緑色)	参照先
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.110
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	P.217
WORLD WINGの利用*	利用不可	利用可	P.430
サービスダイヤル「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内・受付(DoCoMo インフォメーションセンター)」の利用	利用不可	利用可	P.409

※WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色)とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

なお、P903iはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、GSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

※2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

※一部ご利用にならない料金プランがあります。

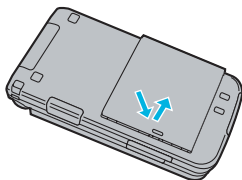
※万一、FOMAカード(緑色)を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末専用の電池パック PO9をご利用ください。

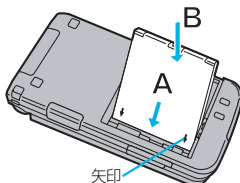
■取り付けかた

- 1** 「**○**」部分を押しながら、ロックが外れるまで(2mm以上)矢印の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

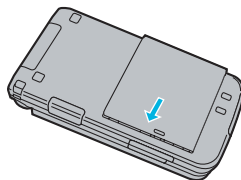


- 2** 矢印面を上にしてAの方向に差し込み、Bの方向に押す

●電池パックのツメを本体の溝に確実に合わせます。

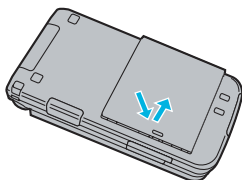


- 3** リアカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける

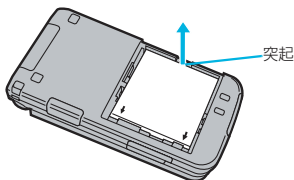


■取り外しかた

- 1** 「**○**」部分を押しながら、ロックが外れるまで(2mm以上)矢印の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す



- 2** 電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる



お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。また、付け外し中にワンプッシュオープンボタンを押さないようご注意ください。
- 電池パックを付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを付けることができません。無理に付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
- 無理に付けようとするとFOMA端末の充電端子が壊れることがあります。
- 詳しくは電池パック PO9の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末を充電する

FOMA端末専用の電池パック P09をご利用ください。

電池の寿命は？

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
 - 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックの寿命の目安は約1年です。ただし、短時間の充電/放電を繰り返したり高温になる環境で充電を行ったり、長時間充電状態を継続したりすると電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。



充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01 (別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ 01 (別売)、FOMA DCアダプタ 01 (別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください。

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたまま長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ(または卓上ホルダ)、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池の使用時間の目安(電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。)

連続待受時間	静止時:約640時間 移動時:約420時間	連続通話時間	音声電話時 :約190分 テレビ電話時 :約120分
--------	--------------------------	--------	-------------------------------

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか、弱い場合等)などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチタスクの実行、カメラや音楽再生・Bluetooth接続を使用すると通話(通信)・待受時間は短くなります。

※滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。

※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

電池の充電時間の目安

ACアダプタ	約140分	DCアダプタ	約140分
--------	-------	--------	-------

※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

1 ACアダプタ(別売)を卓上ホルダ(別売)に接続する

2 ACアダプタのプラグをコンセントへ差し込む

3 FOMA端末を卓上ホルダに差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。

着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。


再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。


- 充電の開始、終了時に「充電確認音」(P.132参照)が鳴ります。ただし、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は鳴りません。
- FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、コネクタキャップや市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

4 充電が完了したらFOMA端末を卓上ホルダから取り外す

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

■充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	ディスプレイ「  」表示
充電中	赤く点灯*	点滅
充電完了	緑で点灯(1回のみ)**	点灯

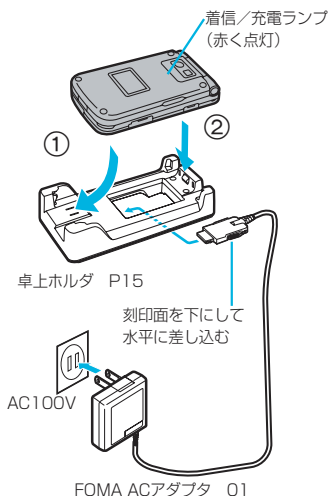
- FOMA端末の電源を切っているときは、「」は表示されません。電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。

※着信／充電ランプがゆっくりと明るくなったり、暗くなったりして光がゆらぎます。

■DCアダプタ(別売)

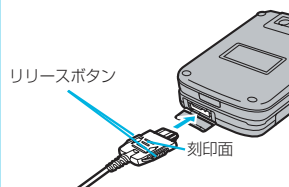
DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライターソケット(12V/24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。

詳しくはFOMA DCアダプタ 01の取扱説明書をご覧ください。



■ACアダプタのみで充電する

刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。抜く場合は、リリースボタンを押しながら抜きます。



※ACアダプタの抜き差しは、向き(表裏)を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

お知らせ

- 海外でご利用になる場合、滞在先の国や場所で利用できる電圧を確認して、FOMA海外兼用ACアダプタ 01(別売)を使用してください。(渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要になります。)また、海外旅行用の変圧器を使用しないでください。
- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

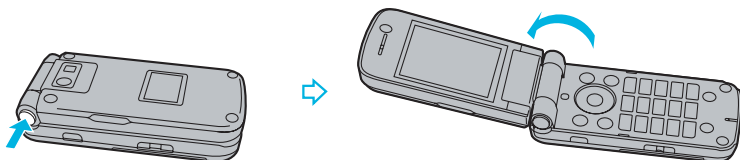
<ワンプッシュオープン>

ボタン操作でFOMA端末を開く

FOMA端末をワンプッシュで簡単に開けます。ボタンを使わず手で開くこともできます。

1 ワンプッシュオープンボタンを押す

FOMA端末が開きます。



お知らせ

- FOMA端末の向きによっては、ボタンを押したときに完全に開かない場合もあります。
- ボタンを押してFOMA端末を開くときは、反動でFOMA端末を落とさないようにご注意ください。
- FOMA端末を閉じるときは手で閉じます。閉じられない場合は一度完全に開いてから閉じてください。

<電池残量>

電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

- ・十分残っているとき..... (緑色)
 - ・少なくなっているとき..... (緑色)
 - ・ほとんど残っていないとき..... (赤色)
- 電池の残量がほとんど残っていないときは、充電することをおすすめします。

画面と音で確認する



電池残量の目安が画面と音で確認できます。

1 **その他** 電池残量

十分残っているとき	少なくなっているとき	ほとんど残っていないとき
 電池残量 十分残っています	 電池残量 まだ大丈夫です	 電池残量 そろそろ充電です
ピッピッピッ	ピッピッ	ピッ

※ 電池残量がほとんどありません。充電してください。

- 絵表示は約3秒後に消えます。
- 「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」に設定中、および「ボタン確認音」が「OFF」に設定されているときは音は鳴りません。

■電池が切れるときは



電池切れ画面

左のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるには、、以外のいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。

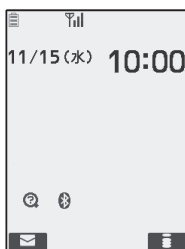
- 通話中は、画面とともに受話口からの「ビビビ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。
- 「マナーモード」、「スーパーサイレント」に設定中、および「オリジナルマナー」で「低電圧アラーム」が「OFF」に設定されているときは、スピーカからの音は鳴りません。

<電源ON/OFF>

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を1秒以上押す



待受画面

ウェイクアップ画面(P.138参照)が表示されたあと、待受画面が表示されます。

- 電話帳の登録件数やメールの保存件数などが多い場合、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 時計設定が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。
- 「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。
- 電源を入れたときに「Starting system Wait a minute」と表示された場合は、しばらく待ってから操作してください。

■FOMAカードを差し替えたときは(おまかせロック中は除く)

電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。

5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

■「FOMAカード(UIM)設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは

電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードが正しく入力されると待受画面が表示されます。PIN1コードについてはP.155参照。

■「通話料金通知」の「自動リセット設定」を「ON」に設定しているときは(おまかせロック中は除く)

電源を入れたあと4～8桁のPIN2コードを入力します。PIN2コードが正しく入力されると待受画面が表示されます。PIN2コードを正しく入力せずにまたはを押すと「自動リセット設定」が「OFF」に設定され、待受画面が表示されます。PIN2コードについてはP.155参照。

お知らせ

- 各入力画面は、「PIN1コード」→「端末暗証番号」→「PIN2コード」の順に表示されます。

電源を切る

1 を2秒以上押す

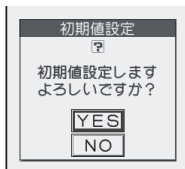
終了画面が表示され、電源が切れます。

- 電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

初期設定を行う

日付時刻、端末暗証番号、ボタン確認音、番号通知、位置提供設定、あんしんキー登録／削除が設定されていない場合は、電源を入れると初期値設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。ソフトウェア更新を一度も行っていない場合は、続けてソフトウェア更新も行えます。

1 電源を入れる▶YES



●端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コードの入力画面が表示された場合はP.45の操作を行います。

2 日付時刻を設定する

自動または手動で時刻を設定するかを選択します。(P.47参照)

3 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。(P.154参照)

1. [0000]を入力▶新しい端末暗証番号(4~8桁)を入力▶YES

4 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。(P.132参照)

1. ON・OFF

5 番号通知を設定する

プッシュトーク発信時に相手に電話番号を通知するかどうかを設定します。(P.104参照)

6 位置提供設定を設定する

GPSの位置提供要求があったとき、現在地を知らせるかどうかを設定します。(P.304参照)



7 あんしんキー登録／削除を設定する

FOMA端末にあんしんキーを登録します。(P.163参照)

8 YES▶ソフトウェア更新を行う

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはソフトウェアを更新します。(P.484参照)

お知らせ

- 未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期値設定の画面やソフトウェア更新を行うかどうかの確認画面が表示されます。
- 設定中に電話がかかってきたり、またはを押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期値設定の画面は表示されません。

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時 自動

時刻を自動で補正するか、手動で設定するかを切り替えることができます。

1 時計▶時計設定▶自動・手動

自動... 日付・時刻を自動で補正します。設定が終了します。

「圏外」が表示されているときなど自動で時刻を補正できない状態で、日付・時刻が設定されていない場合は手動時計設定の画面が表示されます。手順2で日付・時刻を設定してください。

ただし、初期値設定での時計設定時は、手動時計設定の画面は表示されません。

手動... 日付・時刻を手動で設定します。

- 「通話料金通知」を「ON」に設定している場合、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力します。

2 年、月、日、時刻を入力



 でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。

- 年は西暦で入力します。
- 時刻は24時間で入力します。
- 日付・時刻に1桁の数字を入力する場合は、「01」～「09」のようにはじめに「0」を付けて2桁で入力します。

■日付・時刻の補正機能について

ネットワークから取得した時刻情報をもとにFOMA端末の時刻を補正する機能です。

電源を入れたときなどに時刻が補正されます。時刻をすらすら設定したい場合は、手動で設定してください。

- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況や i アプリ待受画面に設定した i アプリによっては補正できない場合があります。

- 海外で時刻情報を受信した際、時差補正值が前回受信した値と異なる場合、時差を補正するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると時差補正が行われ、発信履歴、リダイヤル、着信履歴、メールの送受信等の表示時間も現地時間になります。「NO」を選択したあとに時差補正を行いたい場合は、一度時計設定を「手動」に設定してから「自動」に設定し直してください。

時差補正を有効にしたまま日本に帰国し、時差を補正するかどうかの確認画面で「NO」を選択した場合、サブ時計の表示のみ解除されます。時差補正を行いたいときは以下の操作を行ってください。

- ・FOMA端末の電源を入れ直す
- ・「時計設定」を「手動」に設定してから「自動」に設定し直す
- 海外で時差補正が行われた場合、待受画面に表示している時計の下にサブ時計(日本の日付や時刻など)が表示されます。
- 海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。

お知らせ

- 通話中にも設定できます。
- 時計設定を行わないと次の機能は利用できません。
 - ・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の日時記憶(P.57参照)
 - ・伝言メモ/音声メモの録音日時記憶(P.82参照)
 - ・テレビ電話伝言メモ/動画メモの録画日時記憶(P.82参照)
 - ・カレンダー(P.137参照)
 - ・スケジュール(P.379参照)
 - ・ソフトウェア更新(P.484参照)
 - ・スキャン機能のパターンデータ更新(P.489参照)
 - ・文字入力中の機能メニュー「日付/時刻入力」(P.423参照)
 - ・撮影画面の機能メニュー「撮影日付挿入設定」(P.191参照)
 - ・GPS機能の位置提供設定「許可期間設定」(P.304参照)
 - ・アラーム(P.376参照)
 - ・ToDo(P.383参照)
 - ・i アプリの自動起動(P.284参照)
 - ・通話料金通知の自動リセット(P.388参照)
 - ・自動電源ON/OFF設定(P.375参照)

お知らせ

- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されますが、約2週間以上電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度時計設定を行ってください。また、お買い上げ後初めてお使いになるときは、FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 「時計設定」を「手動」に設定しているときや日本国内ではサブ時計は表示されません。
- 本機能で設定できるのは、2006年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

<発信者番号通知>

相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

この機能は、相手の電話機がFOMA端末や携帯電話サービスの端末などのデジタル端末で、発信者番号表示が可能となきだけ利用できます。

ネットワークに設定する



発信者番号を通知するかどうかをネットワークに設定します。

1 発信者番号通知 ▶ 以下の操作を行う

項目	操作	補足
発信者番号通知設定	▶ 通知する・通知しない ▶ ネットワーク暗証番号を入力	●ネットワーク暗証番号についてはP.154参照。
発信者番号通知設定確認	●確認が終われば「OK」を選択します。	「発信者番号通知設定」の設定内容を確認します。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを1回の通話のたびに設定します。

1 電話番号を入力 または 電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (機能) ▶ 発番号設定 ▶ 通知しない・通知する

- 「発番号設定」を解除する場合は、「発番号設定消去」を選択します。音声電話またはテレビ電話の場合は「発信者番号通知設定」、プッシュトークの場合はP.104「番号通知設定」の設定に従います。

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

■発信者番号を通知する場合

186+ | 相手先の電話番号 | +

■発信者番号を通知しない場合

184+ | 相手先の電話番号 | +

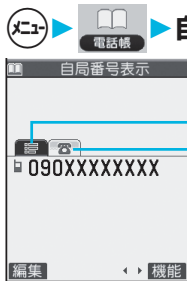
お知らせ

- 電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定して再度電話をかけ直してください。

自分の電話番号を確認する

ご契約の電話番号(自局番号)を表示します。自局番号はFOMAカードに登録されています。

1 自局番号表示



自局番号表示画面

- を押してタブを切り替えることができます。
- 個人データの登録/表示についてはP.385参照。

一覧表示タブ

電話番号タブ

